

OMRC mail magazine

温泉医科学研究所 HP <http://www.onsen-msrc.com/>

-----

メールマガジン編集担当の主席研究員:後藤康彰です。  
このメールは、温泉医科学研究所のメールマガジン登録をいただいた方、  
温泉入浴指導員、温泉利用指導者講習会にご参画いただいた方、アンケート、  
名刺交換をいただいた皆様にお送りしております。

<目次>

1. 【研究情報】 The 21st IUHPE World Conference on Health Promotion, Pattaya, Thailand  
で発表しました  

早坂信哉
  
2. 【お知らせ】 第 22 回温泉利用指導者養成講習会開催が近づいてきました  

(日本健康開発財団)
  
3. 【お知らせ】 観光ビジネスと地域保健をテーマに  

(日本ヘルスツーリズム振興機構)
  
4. 【コラム】 宝の山はすぐそこに  

(烏来温泉:台湾)

=====

1. 【研究情報】 The 21st IUHPE World Conference on Health Promotion, Pattaya, Thailand  
で発表しました  

早坂信哉

=====

8月25-29日にタイのパタヤで開催された標記学会で発表してきました。パタヤは  
バンコクの南東に位置する欧米人に人気のリゾート地です。  
この学会は健康増進に関するもので、扱うテーマは運動、タバコからスピリチュアル的

なことまで含み、とても幅広いです。

参加者は研究者 1,000 人以上で、全世界から集まっていました。講演前には会場でダンスのパフォーマンスがあったりとユニークな演出が印象的でした。

私は弊財団で以前行った入浴習慣の全国調査の結果を発表しました。結果として、夏は週 5 回程度、冬は週 6 回程度の浴槽入浴をしており、日本人のお風呂好きの一面が明らかになりました。

一方、何かと問題が多いと言われている 42℃以上の高温浴をしているのは、夏では男性で 2 割弱、女性で 1 割、冬では男女とも約 4 割でした。日本人の入浴習慣の一端を海外に発信できた良い機会となりました。

(早坂信哉)

=====

## 2. 【お知らせ】 第 22 回温泉利用指導者養成講習会開催が近づいてきました

(日本健康開発財団)

=====

今年の温泉利用指導者養成講習会も開催が近づいてきました。

開催日程は、平成 25 年 10 月 9 日(水)～10 月 16 日(水)の 8 日間。

講習内容は、厚労省の「温泉利用に関する基礎的な知識及び技術に係る講習実施要領」に準拠しており、これまで 404 名が修了しています。

すでに開催が決定していますが、申し込み受け付けは、9 月 27 日(金)までとなっています。年に一回の機会ですので、奮ってご応募ください。

<http://www.jph-ri.or.jp/guide/request02.html>

また、今年から単位ごとの一般聴講も募集しています。

ご興味のある単位がございましたら、1 単位から聴講できますので、こちらをご覧ください。お申込みください。

[http://www.jph-ri.or.jp/shidousha\\_class22.pdf](http://www.jph-ri.or.jp/shidousha_class22.pdf)

(日本健康開発財団)

=====

3.【お知らせ】 観光ビジネスと地域保健をテーマに

(日本ヘルスツーリズム振興機構)

=====

「観光ビジネスと市民の健康は両立するのか」

との丹羽由美さん(日本ヘルスツーリズム振興機構)のご案内をいただいて、即出席を決めたのが、第32回ヘルスツーリズムセミナーです。(平成25年9月30日(月)開催、会場は東京都品川区 JTBビル)です。

内容は

第1部 「独創的な地域主権の実践～温泉療養保健制度への挑戦～」

竹田市長 首藤勝次氏

竹田観光ツーリズム協会 事務局 工藤隆裕氏

第2部 「心と体が潤うまち かみのやま」

上山市 副市長 木村英雄氏

第3部には3氏の鼎談。セミナー後には懇親会もご用意されているとのこと。

ご都合のつく方は是非お申込みください。う。

<http://www.npo-healthtourism.or.jp/event/pdf/semi32.pdf>

(後藤康彰)

=====

4.【コラム】 宝の山はすぐそこに

(烏来温泉:台湾)

=====

郷土の友人を連れ立って台湾を訪れた私は、台湾在住の温泉利用指導者であるMさん達と、台北市内から車で一時間の山中にある烏来温泉で会食することになりました。

ランチへ行く途中の車内は温泉談義に湯の花が咲きました。温泉豊富な東北地方出身であるMさんは、両国の温泉に関する文化や健康に関して詳しく、温泉と健康に対する国境なき強い思いに感嘆しました。

その談義の途中で、こんな小話がありました。

Mさん「浜林さん、あの山にある施設は何かわかりますか？」

私「いえ、なんでしょう、なんかの秘密基地でしょうか」

Mさん「そうなんですよ、あれは蒋介石が建てた秘密基地で、武器や金塊が山と積まれていて、有事の際は立てこもるそうです」

私「その話は有名なんですか」

Mさん「台湾人はみんな知っていますよ」

私「それって、秘密基地じゃないですよね」(一同笑い)

烏来温泉に着き、楽しい会食が済んで解散後、烏来温泉街にある川沿いの無料露天風呂に入浴しました。

弱アルカリ性炭酸泉のお湯はちょっと熱めですが、山からの風が心地よい。金塊が山から降ってこないかとよからぬ妄想をして、山々を眺めながらお湯を愉しみました。

(濱林伸匡)

---

※このメールは、温泉医科学研究所のホームページでメルマガ配信登録をいただいた方、温泉利用指導者・温泉入浴指導員受講者で、メルマガ配信を希望された方、名刺交換をさせていただいた方、アンケートをされた方にお送りしております。

配信がご不要な方は、お手数ですが下記 URL にアクセスしていただき、「メルマガ解除」をお願い申し上げます。

解除 URL: %url/http:out:stop%

---

■発行: 温泉医科学研究所

<http://www.onsen-msrc.com/>

■編集: 主席研究員 後藤康彰

[mailto: ygoto@onsen-msrc.com](mailto:ygoto@onsen-msrc.com)

---

(c)Japan Health & Research Institute. All rights reserved

=====